回覧

有田市コミュニティ・スクールだより

有田市教育委員会
R８.11.1

「安心・安全なまちづくり」は見守りから



無理のない範囲で、「できる人が」「できる時に」「できる場所で」



見守り活動へのご協力、ありがとうございます。おかげさまで、地域全体で子どもたちの安全を守る環境が生まれます。見守りは、地域の活性化にもつながります。

見守りの時間や方法は自由です。
ベストと帽子を着用しての見守り活動にご協力いただける方は、校区内の小学校または有田市教育委員会生涯学習課までご連絡ください。









６年間の思い出は…おっちゃんからの「おはよう！」

有田市教育委員会 教育長　　田中 いずみ

「６年間をじっくりと振り返って一番心に残った事を書いてみよう！」とクラスの子どもたちに投げかけました。卒業アルバムに掲載する文集作成のためです。

「修学旅行の富士登山が、一番思い出に残った」、「最後のフェスティバルで、浦島太郎の劇をしたのが楽しかった」、「ペア学級の１年生の世話ができて嬉しかった」等々…子どもたちは自分の一番を書いてくれました。



そんな中で一人の子が、「ぼくの６年間の一番の思い出は、朝来るときに信号のところに立っているおっちゃんが、『〇〇君、おはよう！今日も元気か？』って言ってくれたことです。」と書いてきました。その子のご家庭は、お母さんが夜遅くまで仕事をされていたので、彼は、自分で起き、身支度をし、学校に登校していました。朝ごはんは、保健室で私と一緒にパンと牛乳を食べるという毎日でした。

朝起きて誰とも話さずに家を出て、最初に声をかけてくれるのがいつものおっちゃん。「おはよう」の挨拶は家族ではなくいつものおっちゃん。作文の最後は、「ぼくは信号のところに立っているおっちゃんが大好きです。中学校に行くときはちょっと遠回りになるけど、いつもの信号の道を通りたいです」という文章で締めくくられていました。

私は、朝、いつも通学の見守りをしてくださっている方を見かけると、彼のことを思い出します。



見守り活動を通して、いろんな出会いやドラマが生まれるんですね。

